

1. 会社概要と事業の内容

www.cosmobio.co.jp

Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

3

会社概要

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

社名:	コスモ・バイオ株式会社
業種:	卸売業
上場市場:	東京証券取引所JASDAQ
コード:	3386
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者:	代表取締役社長 笠松 敏明
設立:	1983年8月25日
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入れ(一部自社製造)及び国内・海外販売
資本金:	918百万円
事業年度:	1月1日から12月31日まで
従業員数:	連結:122名 個別:93名 (2015年6月30日現在)
連結子会社:	ビーエム機器株式会社
非連結子会社:	Cosmo Bio USA, Inc.



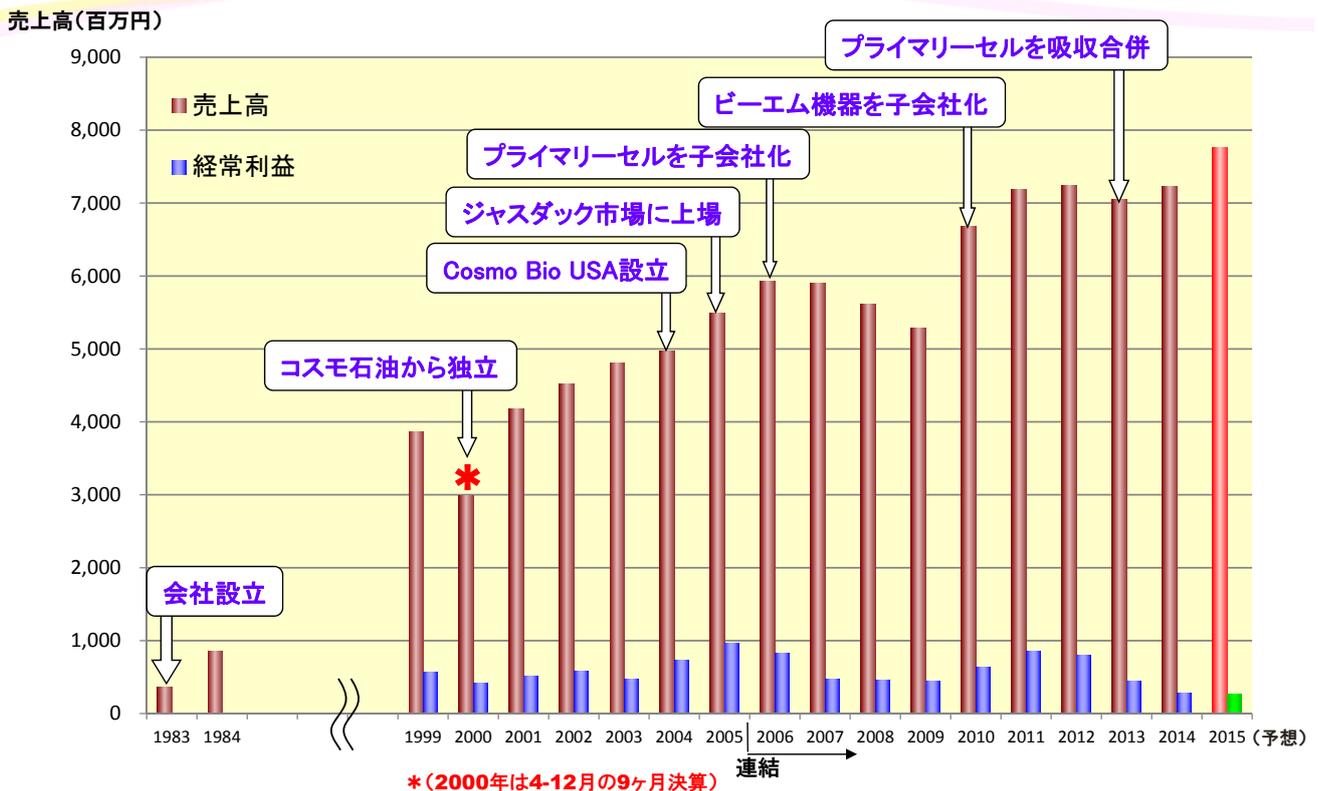
Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

4

ライフサイエンス研究を支援する専門商社

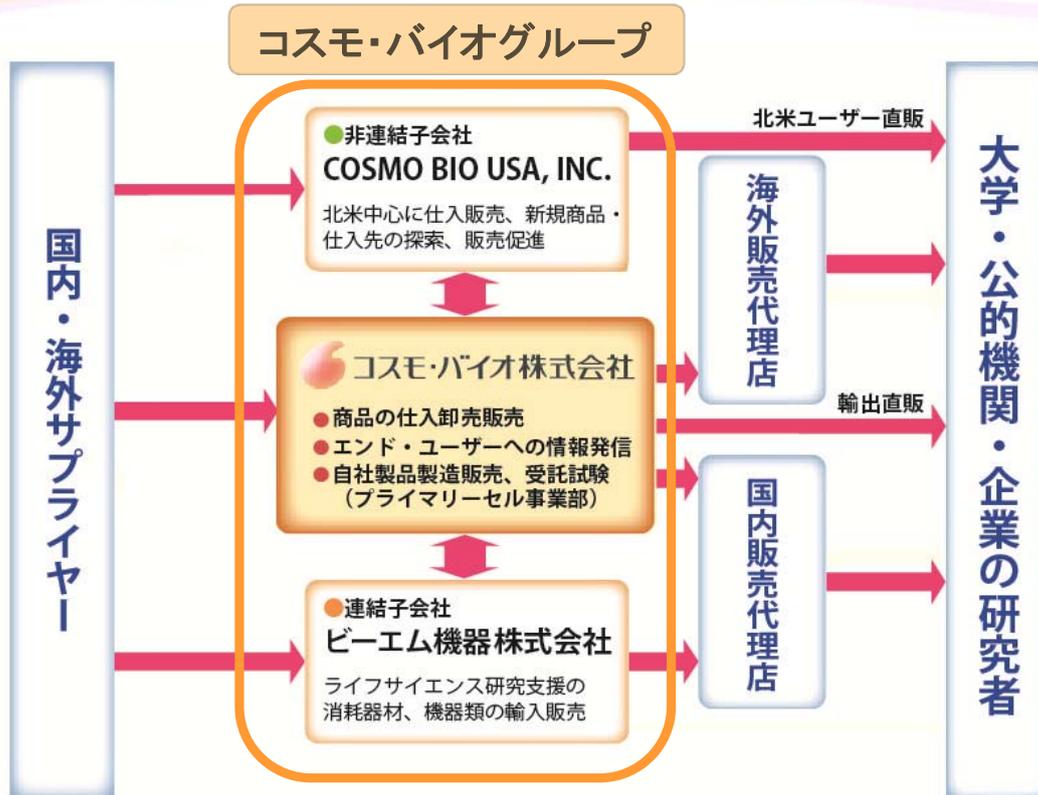


当社の歩み



グループ会社の役割

「世界のライフサイエンス研究を支援する専門商社」



グローバルネットワーク

約620社の仕入網



28拠点の海外販売網



約200拠点の国内代理店網



コスモ・バイオ株式会社

2. 2015年事業環境の概要

www.cosmobio.co.jp

Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

9

2015年事業環境について



大学・公的研究機関

2015年度科研費の助成額は2,318億円であり、前年比13億円の増額であった。一方、国立大学運営交付金の削減(2015年度は前年度から177億減[-1.6%])は継続しており、特に、当社商品が多く使用される基礎研究分野への影響が大きい。

民間企業

国立大学におけるベンチャーキャピタル設立・出資、景気の上向きによる投資の活性化等、バイオベンチャーを取巻く環境変化や、製薬企業の研究開発費増額はあるものの、基礎研究分野の市場は微増から横ばい傾向が継続。

競合他社

市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための価格競争が慢性化

為替相場

為替変動により利益に影響
(円安により仕入原価高に)

2015年下期予想 125円/ドル*
2015年上期実績 120円/
2014年上期実績 103円/ドル

*8/10の業績予想修正に伴い、当初予想120円→125円へ変更



【支払通貨】

Copyright© 2015 COSMO BIO CO.,LTD. All Rights Reserved.

10

2015年事業環境について

基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)



※ 予算額は、当初予算額を計上。

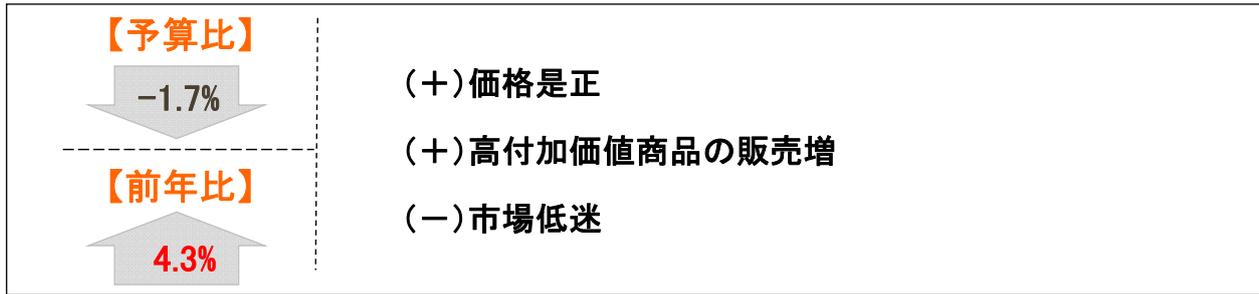
※平成23年度から一部種目について基金化を導入したことにより、予算額には、翌年度以降に使用する研究費が含まれることとなったため、予算額が当該年度の助成額を表さなくなった。そのため、当該年度に助成する金額を「助成額」として、予算額とは別に表記している。

文部科学省HPより

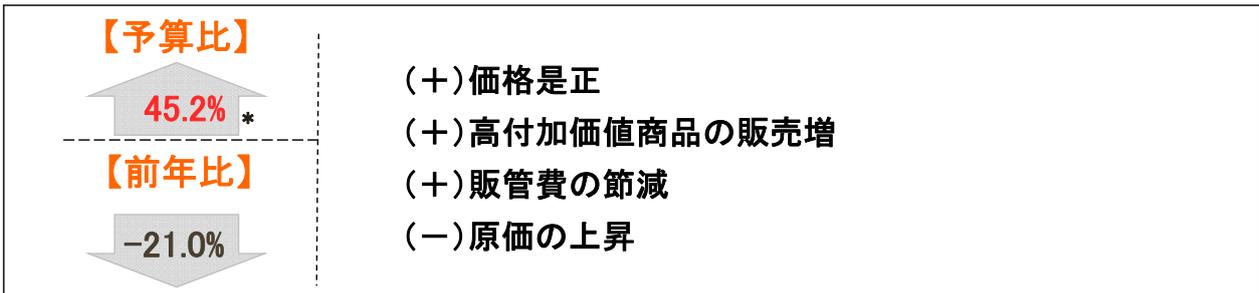
3. 2015年12月期第2四半期決算の概要

連結業績ハイライト

売上高



純利益



* 8/10に業績予想の修正をしておりますが、予算比は2/13発表数値より算定しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

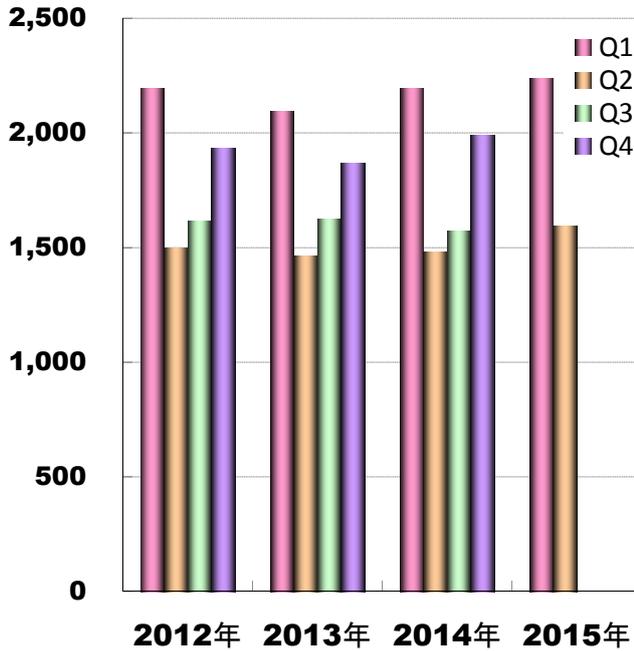
	2014年	2015年		
	第2四半期累計	第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	3,674	3,833	159	4.3%
売上総利益	1,272	1,220	△51	△4.1% 注1
営業利益	154	158	4	2.8%
経常利益	250	258	8	3.3%
純利益	183	145	△38	△21.0%

注1 円安による原価上昇

四半期別動向(売上高、経常利益)

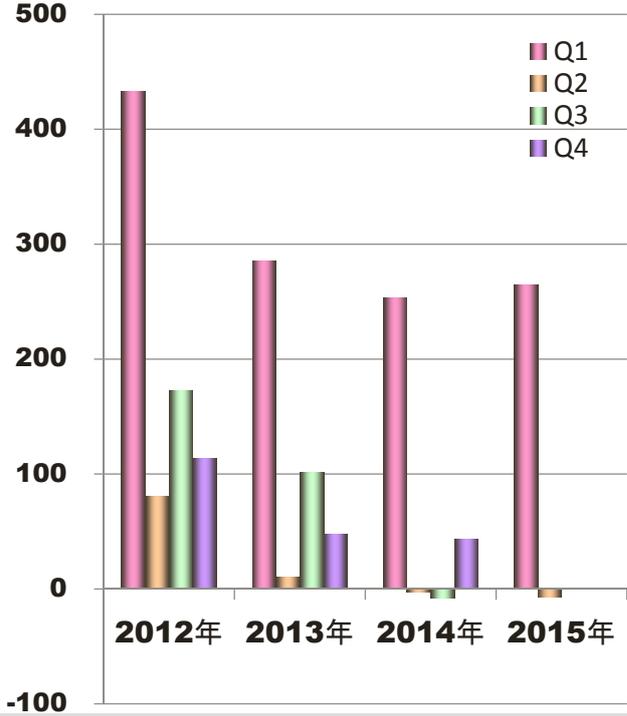
(百万円)

売上高



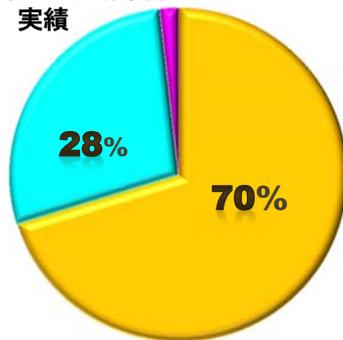
(百万円)

経常利益

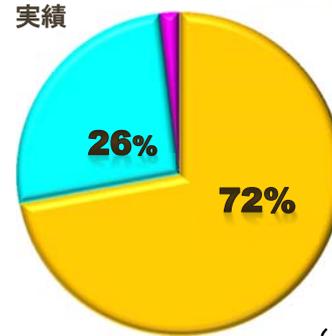


商品分類別連結売上高

2014年第2四半期累計
実績



2015年第2四半期累計
実績



(単位:百万円)

連結	2014年第2四半期累計		2015年第2四半期累計		増減額	増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比		
研究用試薬	2,581	70.2%	2,762	72.1%	181	7.0%
機器	1,028	28.0%	996	26.0%	△31	△3.0%
臨床検査薬	65	1.8%	73	1.9%	8	13.2%
合計	3,674	100.0%	3,833	100.0%	159	4.3%

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年12月末	2015年6月末	増減額
総資産	8,161	7,912	△249
流動資産	5,234	4,948	△285
固定資産	2,927	2,963	36
負債合計	1,628	1,356	△272
純資産合計	6,532	6,555	23
株主資本	5,469	5,573	103
自己資本比率	74.1%	77.6%	

注1 売掛債権 △425

注2 買掛債務 △240

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2014年 第2四半期累計	2015年 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	543	343	△199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△65	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74	△116	△41
現金及び現金同等物の増加額	376	162	△213
現金及び現金同等物期末残高	1,812	1,546	△265

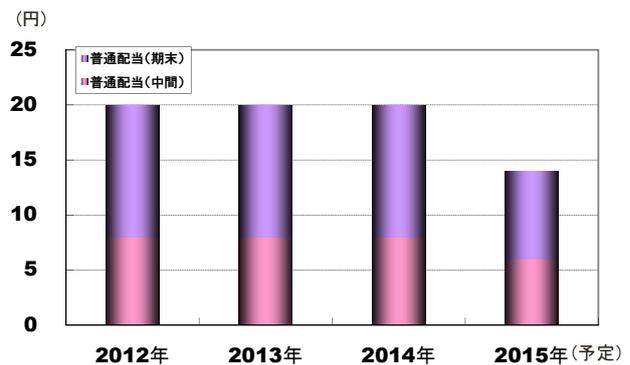
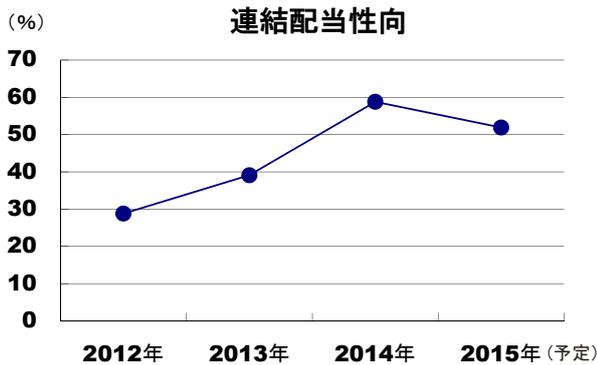
注1 法人税等の支払額又は還付額 △146(2014年 51 → 2015年△94)

注2 子会社における自己株式の取得

配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2015年 12月期	6円	8円(予定)	14円(予定)
2014年 12月期	8円	12円	20円
2013年 12月期	8円	12円	20円
2012年 12月期	8円	12円	20円

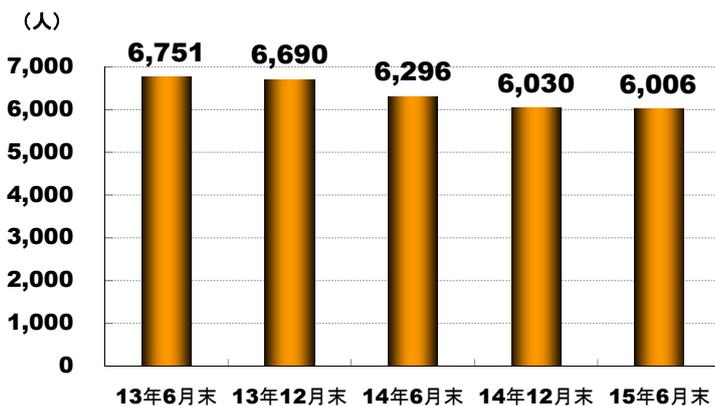
* 2013年1月に、1株につき100株の株式分割を行っています。
1株あたり配当額は、この株式分割を2012年12月期の期首に行ったと仮定して算定しています。



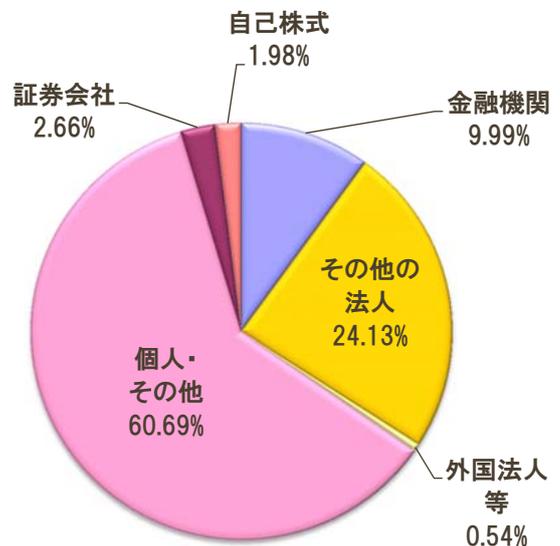
株式の状況(2015年6月末現在)

株主数の推移

発行可能株式総数	18,361,600株
発行済株式の総数	6,048,000株
自己株式数	120,000株



所有者別株式分布状況



4. 2015年の取り組み進捗および通期見通し



2014年からの取り組み(3ヶ年計画)

「成長と信頼の研究支援会社の実現」

顧客満足度の追求

研究動向にあった商品・サービスの導入、製品開発の強化、顧客の求める情報提供の充実

業容の拡大

販売、商品開発、業務効率化・強化のための投資
仕入先との関係強化・提携等の推進

経営基盤の安定化

株主資本、経営資本の安定、事業リスクの低減化(仕入先M&A、為替、法規制等のリスク)

2015年への課題

- ・市場が拡大しないなかで売上を確保するための、シェアの確保・拡大
- ・自社ブランド品の導入・販売の効率化
- ・円安環境でも利益を出せる収益構造への改革
- ・顧客満足度の追求に向けた具体策の検討および実行



重点目標

- ▶ 市場低迷・円安環境に打ち勝つ!
- ▶ 効率的・合理的な仕事への転換

2015年の取り組み

市場低迷・円安環境に打ち勝つ!

上期の活動状況

下期の取り組み

◎適正な商品価格への是正

- ・取扱い商品の約7割については是正の必要性を検討し、必要な商品については対応

- ・価格改定作業を継続
- ・市場への浸透に注力していく

◎顧客満足度の向上

- ・取扱い商品数が1,000万品目を突破
- ・「抗体百科」カタログをWEB版で復活
- ・有力分野商品の技術セミナー回数をUP
- ・営業強化の一環として顧客訪問数を大幅UP
- ・商品在庫施策による納期短縮

- ・動画プロモーションツールを導入、Web上で商品紹介動画を配信
- ・訪問数・セミナー実施回数UPに向けた取組みを継続
- ・在庫効果を検証し、対象商品の拡充を狙う

・市場低迷・円安環境に打ち勝つ！

上期の活動状況

◎自社製品・サービス等高付加価値商品の強化

- ・新規導入仕入先の売上進捗は順調に推移
- ・自社製品の販売額に関しては前年を上回る
- ・受託系サービスの販売額に関しては前年を大幅に上回る

下期の取り組み

- ・受託系サービス・細胞関連商品の品揃えの強化
- ・受託系サービス部門への増員による高付加価値商品の営業強化

◎輸出の拡大

- ・代理店と共同で海外展示会へ出展
- ・販売ツールの充実と知名度の向上に向け、海外版HPの見直しを進行中

- ・中国の販売会社と代理店契約交渉
- ・HP見直しによる知名度の向上

・効率化、合理的な仕事への転換

通期の活動状況

- ・新基幹システム(SAP)導入作業を進行中、2016年1月稼働予定
- ・販管費の効率的な使用・節減(営業経費・物流経費・一般管理費の節減)
- ・社員の意識変化への取り組み → 効率を意識した仕事が進透中

・経営基盤の安定化

・子会社関連

子会社ビーエム機器において、個人保有の株式をビーエム機器の自己株式として集約

2015年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	14/12月期 実績	15/12月期 当初予想	15/12月期 修正予想	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	7,235	7,760	7,760	524	7.3%
営業利益	162	70	90	△72	△44.5%
経常利益	285	200	270	△15	△5.4%
純利益	201	120	160	△41	△20.7%
売上高経常利益率	3.9%	2.6%	3.5%	—	—

平均為替レート	14/12月期 実績	15/12月期通期 当初予想	15/12月期下期 修正予想
円/USドル	106円	120円	125円

	14/12月期 実績	15/12月期中間 実績	15/12月期期末 予定
配当額	合計 20円	6円	8円

ご注意

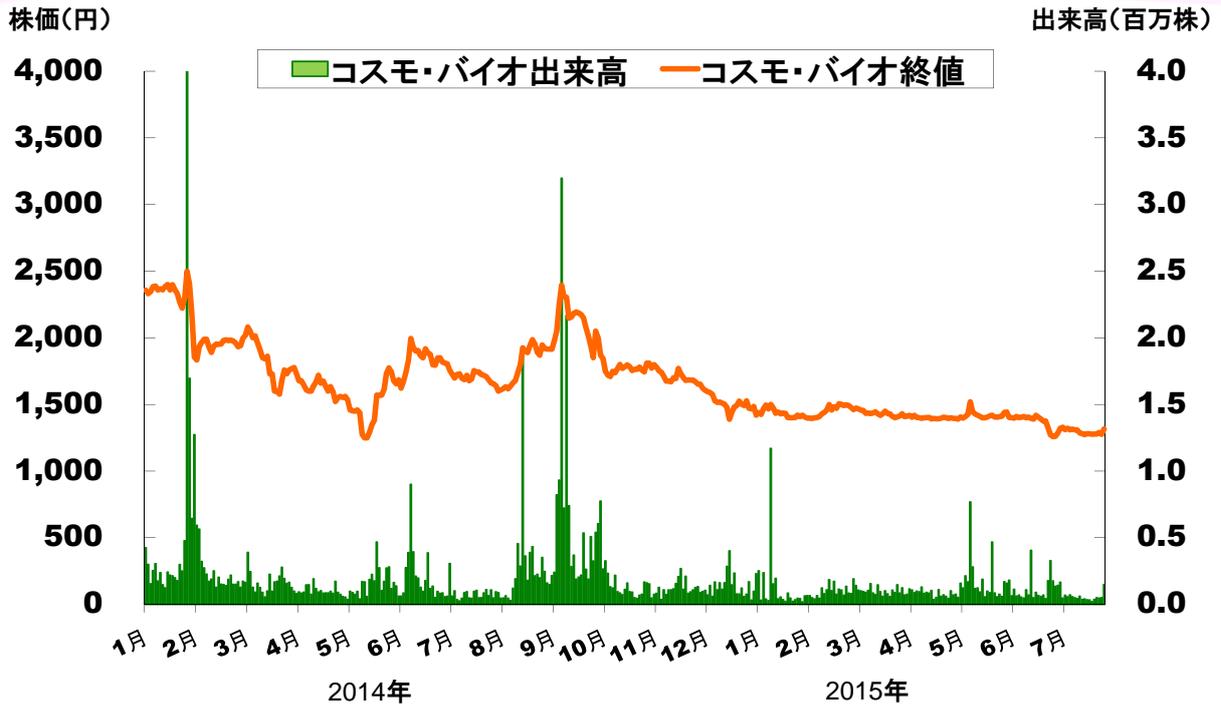
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト

<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

株価推移(2014/1/6~2015/8/11)



昨日(8月11日)の終値:1,316円